

# SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（損害保険ジャパン株式会社 鹿児島支店）

分類	N O	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		経営計画や支店ごとの経営計画・経営目標を掲示し社内で共有。また各部門ごとにもこれを踏まえた計画・目標を設定し部署内で取組を行っている。また経営理念体系を深めるためのワークショップも開催し理解を深める取組も行っている。								8	9						17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		「SOMPOグループコンプライアンス行動規範」「実践の手引き」を制定。現業部門、管理部門、内部監査部門の3つそれぞれがリスク管理上の役割を発揮することで強固な内部統制を構築し、これらの遵守を事業活動の基盤・前提としている。														16		
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		サステナビリティ領域の最高責任者であるグループCSO(Chef Sustainability Officer)は、グループのサステナブル経営に関する戦略を策定・実行し、グループ全体のサステナビリティ機能を統括する役割を担っている。														16		
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		未来志向の対話を通じステークホルダーと積極的に関わり、高い倫理観で国際的な行動規範を尊重し、気候変動や生物多様性などの環境問題、人権やダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン、地域社会への配慮等を事業プロセスに組込み、社会に対して透明性の高い情報を積極的かつ公正に開示していく。													16	17		
	5	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility)：企業の社会的責任の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。		●	公正・公平な取引・法令などの遵守・社会的課題への配慮、環境、社会、経済への影響を最大限配慮した調達活動を行う。この観点から調達を行うことで、環境、社会、経済に配慮した事業活動を推進し、持続可能な社会づくりに貢献していく。													16			
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	首都圏に集中する重要機能の停止による事業継続への影響に備え、関西を中心に代替拠点を整備。危機対応や重要業務を引き継ぐマニュアルを整備し、毎年訓練を実施。関西に危機対応要員を常駐させ、グループの危機対応の統括を行う体制を整備。								9		11		13.1		16	17	
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	変革と成長を実現するため、リードするキーポストに多様な専門性や背景を持った質の高い人材が安定的かつ効果的に排出する体制構築のため、後継者育成計画の策定し実践している。							8	9						17		
公正な取引	8	【贈収賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		汚職や贈収賄の禁止は当然として周知。不正競争防止については、特に業務を通じた不適切な情報の取扱いは、法令に抵触するリスクがあり、当社は業務改善計画にしたがって、毎年全社員に研修を必須とするなど、適切な情報管理に向けた取組みを進めている。									10					16.5		
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		事業活動の基盤・前提であるコンプライアンス行動規範に「知的財産の保護」としてグループ内知的財産の保護と第三者が保有する知的財産を侵害しないことを明示し、取組している。							8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報を適正に取扱うことが社会的責務と認識し「個人情報保護法」「番号法」その他の関係法令等を遵守し、個人情報保護方針を「個人情報保護宣言」として掲げ、適正な取扱いのため従業者への教育・指導を徹底し、管理態勢を継続的に見直し改善に努める。														16		
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5		8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5		8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスマントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		「グループ人間尊重ポリシー」を策定、社員含め全てのステークホルダーの「基本的人権」尊重を宣言。取組推進組織として、「人間尊重推進本部」設置、人権・基本的行動規範の啓発などの諸問題に、経営も交えた一元的かつ迅速な意思決定を目指し組織横断的・体系的な施策を展開している。				4.3 4.4	5.1 5.2		8.5 8.7		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		育休推進など基本取組を始め、ワークライフバランスの優れた取組みの事業者として、「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業・知事特別賞」を受賞(2017年度)するなど、保育者の就業環境の維持、向上にも注力している。			3		5.5		8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		健康宣言により心と体の健康づくりの推進など健康な組織の構築取組。OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)に基づき、健康診断・ストレスチェックを毎年実施し、改善を図っている。			3				8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		「Diversity&Inclusion(D&I)」に「Equity」を加えた「D E I」を根付かせ、多様な視点や価値観から「すべてをお客さまの立場で考える会社」を目指していく。J-Winダイバーシティーアワードも過去複数回にわたり受賞。			4.4	5.1 5.5		8.5		10.2 10.3						16.7		
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		「人材育成教科書」を作成し、人材育成をする側・される側双方の能力開発・教育訓練を実施。損保ジャパン大学やeラーニング、また外部の教育システムも導入し学びの体制を多方面から提供している。			4	5.5		8	9									

# SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（損害保険ジャパン株式会社 鹿児島支店）

分類	N O	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)関連項目															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		各役職に応じた仕事の内容及び賃金体系を公表し、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3						
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営ホワイト500選定されるなど、当社として健康宣言により心と体の健康づくりの推進など健康な組織の構築取組を行っている。			3					8								
	20	【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	社内業務や社内監査など、お客様への保険商品や事故対応など多方面にDXを推進し、業務の効率化・ビジネスモデル変革を日々取り組んでいる。							8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 (例)鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業		●	鹿児島県女性活躍推進宣言企業に平成30年より登録し、取組実施中。ダイバーシティ&インクルージョンや女性活躍の場の拡大、異業種交流会を開催し、「活躍推進優良企業知事表彰」も受賞している。			3	4	5			8		10						
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物を排出する全てのビルに『ビル産廃担当者』を設置し、産業廃棄物の管理を実施。その適切な管理が行われているか、年に1度「産業廃棄物取扱いチェックリスト」を用い、産業廃棄物を排出する各ビルの管理状況を確認、報告する体制整備をしている。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社のGHG排出量削減については2030年までに60%削減(2017年比)の目標を掲げ、使用する電力の再生可能エネルギーへの切り替えなどの対策を進めている。							7.3					13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		「気候変動対応方針」の策定に伴い、「損害保険業界の環境保全に関する行動計画」の内容を見直し、「経団連カーボンニュートラル行動計画」および「経団連循環型社会形成自主行動計画」の目標などを含めた内容を、「環境取組みに関する行動計画」として、環境問題に取組している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15	
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等)。	●		気候変動を重要な社会課題に位置づけ、「SOMPO気候アクション」として、気候変動への「適応」「緩和」そして「社会のトランストランスフォーメーションへの貢献」を掲げ、取組み実施。								9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		2011年から地域の環境団体やNPOと、毎年全国で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPANプロジェクト」を展開。12年間で携わった希少種は300種を超え、2023年からはEco-DRR(生態系を活用した防災・減災)やOECM(保護区以外の生物多様性に資する地域)を普及する観点を取り入れた活動も開始している。						6.6						14	15			
	27	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		自動車修理時に、お客さまと整備工場へ十分な説明を積極的に行い、再利用するなど環境問題にも取組。自然災害等で被災した太陽光パネルをリユースし、廃棄物を減らす取組みを実施し、本業を通じたSDGs達成に向けて貢献している。					6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。	●			2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		日本初のフードバンクであるセカンドハーベスト・ジャパンと連携し、まだ食べられるにもかかわらず、市場価値を失った食品をフードバンクに寄贈することにより、食品ロスの削減に寄与する新たな仕組みを構築し、寄贈にかかる費用を補償する保険の販売を開始。寄贈した食品は、生活困窮家庭などに提供することで、生活支援に役立てている。	1	2				6.4					12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。	●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。	●													12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		SOMPOグループは、投融資を含めた温室効果ガス(GHG)排出量の2050年ネットゼロを目指しています。自社のGHG排出量削減については2030年までに60%削減(2017年比)の目標を掲げ、使用する電力の再生可能エネルギーへの切り替えなどの対策を進めています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる。	●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。	●								6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	

# SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（損害保険ジャパン株式会社 鹿児島支店）

分類	N O	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や、海洋汚染の防止に貢献している。	●														12.2 12.5		14				
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。	●		社有車は、2030年度EV(HV含むBEV、FCV、PHV)化率100%を目指し、基本的にEV化し環境に配慮した自動車の利用促進をしている。									9.4		11.2		13.1 13.3					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		商品・サービスについては、お客さまの声その他の要素から多面的に商品等の適切性を検証し、改善課題を適切に把握し、これに対応することにより、商品等の品質の確保・向上を図ります。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		高齢者や商品の特性等を勘案したうえで、きめ細やかな取組みやトラブルの未然防止・早期発見に資する取組みを具体的に定め対応している。障害者への不当な差別的取扱いを行わず、障害の状態や性別、年齢に応じた必要かつ合理的な配慮に努めている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	●	「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」というバーバスに基づき、多様なステークホルダーに向き合い、各事業を通じて様々な社会課題解決に取り組むことで、企業価値の向上に努めており、社会課題解決型の保険開発やサービス提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		社会貢献活動や文化振興、地域活性化に資する活動などを通じ、地域社会への貢献を行っている。具体的にはSOMPO地球俱乐部や防災ジャパン活動や美術館を通じた文化・芸術の振興。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。	●			2.3 2.4							7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。	●		首都圏・関西だけでなく、本年度より各地域の中核都市（札幌・仙台・名古屋・広島・福岡）にてインターンシップを開催し、またこども仕事体験フェスタ等職業体験イベントも開催している。				4				8.6		10.2							17	
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。	●		鹿児島県内の就職活動・採用活用を毎年行っている。また当社グループ会社では400人超の鹿児島現地採用の社員がいる。				4.4				8.5 8.6									17	
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。	●										8	9		11	12		14	15		17	
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。	●			2	3	4				7	8	9	10	11	12		14	15		17	
	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々）	●										8			11	12		15			17	